

# 大雨が降り出しました!!



危ないところはどこかな？

● 上の絵を見て、<sup>あぶ</sup>危ないと思ったところを、<sup>わく</sup>枠内<sup>ない</sup>に書きこみましょう。



Blank area for writing answers, enclosed in a rectangular frame.



# 学校のグラウンド



<sup>かみなり</sup>雷は「高いものに落ちる」という性質<sup>せいしつ</sup>があります。

学校のグラウンドなど広く開けた場所ではそこにいる人が「最も高いもの」になってしまい<sup>ちよくげき</sup>直撃を受ける危険があります。

グラウンドの真ん中で<sup>かさ</sup>傘をさすことも危ないです。

直ちに近くの建物の中に<sup>ひなん</sup>避難しましょう。



# 橋の下



川の上流で大雨が降ると、短時間に増水することがあります。川の下にある歩道はすぐに水に埋ま<sup>う</sup>ってしまい、大変危険です。

<sup>ぞうすい</sup>増水した川は流れが早くなっています。浅い川でも落ちてしまうと、自力で上がることができません。

雨が強くなってきたら、川のそばから<sup>はな</sup>離れましょう。



## 道路・アンダーパス



大雨のときは、低いところに水が流れていきます。そのためアンダーパスとよばれる鉄道や道路の下を通る地下道は周囲より低いため、短時間に水でおおわれてしまいます。アンダーパスの手前側からはその状況が見えにくいのも特徴です。

近道で便利な場所も多いのですが、少しでも危険だと思ったらときには、無理をせずに回り道をしましょう。



## 用水路 (作業する人)



田んぼや畑に水を引くための用水路は大雨などで増水することがあります。小さな水路であっても水かさが増えると流れが速くなり、うっかり足を取られると転んでそのまま流されてしまうことがあります。

<sup>はんらん</sup>氾濫により田んぼと用水路の境目もわからなくなるため、大雨のときは近づかないようにしましょう。



# がけ・裏山



写真提供：(一財) 消防防災科学センター

雨が降り続けると地盤がゆるみ、急な斜面がとつぜん崩れ落ちます。  
その前ぶれとして、ふだん聞き慣れない大きな音が聞こえることもあります。  
突然発生するため人家の近くで起こると逃げ遅れ被害が大きくなる場合もあります。

近くにがけがあるときは、速やかに離れ避難しましょう。



## 海の近く



写真提供：横須賀市港湾部港湾整備課

海の近くでは台風などの強風によって高波や高潮が発生します。高波が海岸に打ち寄せ続け、防波堤を超えると道路に海水が流れこんできます。打ち寄せた波に乗って石や砂利が打ちあがることもあるため大変危険です。

通行している車も視界が悪くなり、人に気づきにくく事故につながりやすくなります。大雨のときは、絶対に海に近づかないようにしましょう。